

船舶事故等調査報告書（軽微）

1	船舶事故	計	63 件
---	------	---	------

2	船舶インシデント	計	19 件
---	----------	---	------

	合 計	82 件
--	-----	------

平成22年1月29日

運 輸 安 全 委 員 会

船舶事故等調査報告書（軽微）一覧

（函館事務所）

- 1 引船第十八長崎丸引船列漁船第三十八貴洋丸衝突
- 2 モーターボートチャンピオン転覆

（仙台事務所）

- 3 貨物船輝王定置網損傷
- 4 引船開洋運航阻害
- 5 貨物船第一中央丸乗揚
- 6 漁船第28寿丸衝突（消波ブロック）
- 7 漁船寿雅丸乗揚

（横浜事務所）

- 8 貨物船日南丸乗揚
- 9 漁船第二十三海援丸運航不能（機関損傷）
- 10 貨物船すみふく丸運航阻害
- 11 警戒船第一ユーカリみな丸火災
- 12 貨物船若波丸運航阻害
- 13 押船第八神佑丸被押はしけ鶴乗揚
- 14 貨物船天鶴乗揚
- 15 漁船第十五長栄丸運航不能（機関損傷）
- 16 砂利採取運搬船第十八新幸丸乗揚
- 17 モーターボート Edgewater 乗揚
- 18 砂利採取運搬船第三大芳丸乗揚
- 19 砂利運搬船第七運栄丸乗揚
- 20 漁船第27長久丸運航不能（機関損傷）
- 21 モーターボートスワン号水上オートバイ LET' II 衝突（被引浮体）

- 22 貨物船 VF GLORY 貨物船 DONG YUAN 衝突

- 23 遊漁船第二十一寛洋丸運航不能（燃料不足）

（神戸事務所）

- 24 漁船第三十三幸漁丸乗揚
- 25 漁船第二十一若宮丸運航不能（機関損傷）
- 26 貨物船 SEA SAPPHIRE 漁船戎丸衝突
- 27 漁船第一翔洋丸運航不能（機関損傷）
- 28 水上オートバイ二代目石丸同乗者負傷
- 29 貨物船宮島丸乗揚
- 30 水上オートバイ NORI 水上オートバイオート ブリーズ号衝突
- 31 砂利採取運搬船第65天神丸乗揚
- 32 水先艇べいぱいろっと7衝突（岸壁）
- 33 ゴムボートオキエラブ丸運航不能（燃料油供給停止）
- 34 モーターボート Fuji Maru 乗揚
- 35 水上オートバイ AMIGO 遊泳者負傷
- 36 貨物船第三十八開神丸乗揚
- 37 貨物船大政丸漁船隆清丸衝突
- 38 漁船吉辰丸火災
- 39 貨物船第五十一開神丸座洲
- 40 貨物船第十八三幸丸運航不能（機関損傷）
- 41 砂利採取運搬船第十五住吉丸乗

※下線付き番号は、インシデント

揚

- 42 貨物船第三十八住若丸乗揚
- 43 砂利採取運搬船第二津乃峰丸乗揚
- 44 水上オートバイ ATR 同乗者負傷
(広島事務所)
- 45 モーターボート Super Win V 水上オートバイ MJ-800XL 衝突
- 46 貨物船 SHUN FA 6 貨物船律和丸衝突
- 47 引船海照引船列乗揚
- 48 漁船第六十八神洋丸乗揚
- 49 貨物船 SINOTRANS SHENZHEN 貨物船 CRANE POSEIDON 衝突
- 50 押船第七明豊丸被押バージ第五明豊丸乗揚
- 51 貨物船第一弘栄丸乗揚
- 52 貨物船 H K L 栄隆乗揚
- 53 漁船白鯨モーターボート BABY DUCK II 衝突
- 54 漁船省英丸乗揚
- 55 給水船いつき漁船第二宗宝丸衝突
- 56 貨物船幸洋丸乗揚
- 57 油送船銀麗乗組員負傷
- 58 油送船第五大洲丸漁船未来丸衝突
- 59 モーターボート Dinghy・III モーターボート清中丸衝突
(門司事務所)
- 60 漁船金比羅丸運航阻害
- 61 遊漁船金城丸運航不能(バッテリー過放電)
- 62 漁船太孝丸運航不能(機関損傷)
- 63 旅客船ドリームエメラルド運航

阻害

- 64 押船ジェイケイ衝突(岸壁)
- 65 油送船第八観音丸貨物船高取丸衝突
- 66 貨物船うりずん衝突(灯標)
- 67 貨物船第三十一大昭丸漁船第十八妙聖丸衝突
- 68 漁船春日丸モーターボートフィールソーグッド衝突
- 69 モーターボート大弘丸モーターボート海鷹衝突
(長崎事務所)
- 70 漁船第三十八海盛丸運航不能(機関損傷)
- 71 石材運搬船第六辰栄丸乗揚
- 72 砂利採取運搬船龍玉丸乗揚
- 73 漁船第二かつ丸遊漁船石鯛丸衝突
(那覇事務所)
- 74 漁船和福丸運航不能(機関損傷)
- 75 旅客船フェリー栗国衝突(岸壁)
- 76 旅客船第十八あんえい号乗揚
- 77 漁船福寿丸乗揚
- 78 貨物船第七十五恭海丸衝突(岸壁)
- 79 プレジャーボート H-SLIDE' S 運航不能(機関損傷)
- 80 旅客船フェリーいへや衝突(岸壁)
- 81 水上オートバイアクト 2 号潜水者負傷
- 82 ダイビング船ディスカバリー乗揚

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第237号	
事故等種類	運航不能（燃料不足）	
発生日時	平成21年9月23日（祝） 10時00分ごろ	
発生場所	東京都八丈島大越鼻灯台から真方位356° 27km付近 （概位 北緯33° 23.7′ 東経139° 43.3′）	
事故等調査の経過	平成21年9月24日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	遊漁船 第二十一 ^{かんよう} 寛洋丸、19トン	
船舶番号、船舶所有者等	295-37552鹿児島、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、釣り客7人を乗せ、平成21年9月23日00時05分ごろ、静岡県松崎港を出港し、09時30分ごろ、八丈島北方の黒瀬（以下「黒瀬」という。）で遊漁を開始したところ、10時00分ごろ、燃料が不足して主機が停止したことから、救援を依頼した。 本船は、救援の巡視船及び付近にいた仲間の船により、松崎港にえい航された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 1、視界 良好 海象：平穏、うねり 約1m	
その他の事項	本船は、昭和62年12月26日に進水した中古船であった。 船長は、本船を購入後、平成21年9月22日が最初の航海であった。 船長は、自身の経験から本船の燃焼消費量を推定し、22日出港前に、黒瀬まで2往復分の燃料油を積み込んで黒瀬に釣り客を案内した。 船長は、22日松崎港帰港後、燃料タンクの燃料残油量を計測して実際の燃料消費量を把握しなかった。 主機取扱説明書には、出港前の点検項目として、燃料タンクに燃料が満タンに入っていることを確認するよう記載されていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、燃料が不足して主機が停止したものと考えられる。 船長は、本船を購入して最初の航海後、燃料残油量を計測して黒瀬への航海1回1日分の燃料消費量を把握せず、また、出港前に燃料油量を確認しなかったため、翌日、燃料が不足するおそれがあることに気付かず、黒瀬に向けて出港したもの

	と考えられる。
原因	本インシデントは、船長が、出港前に燃料油量を確認せず、燃料が不足するおそれがあることに気付かずに出港したため、本船が八丈島北方沖において遊漁中、燃料が不足したことにより発生したものと考えられる。